



研究者名※	浅見美穂 ASAMI Miho	学位※	博士(学術)
所属※	家政学部通信教育課程 生活芸術学科(住居)	職名※	特任教授
連絡先	asamim@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0134008		
研究分野※	生活科学(住生活) 建築学(社会システム)		
研究キーワード※	住居計画、住居管理、住教育・住情報		
共同研究・競争的資金等の研究課題	・住居管理に関わる職能と住居管理モデルの提案(科学研究費・基盤C・研究代表者(2021~2023年)) ・居住者の生活と地域防災の視点からみた住宅の維持管理に関する研究(科学研究費・基盤C・研究代表者(2015~2017年))		
社会貢献・産学官連携活動等	・江戸川区建築審査会 委員(2023年~) ・豊島区総合評価競争入札推進委員会 委員(2023年~) ・豊島区建築審査会 委員(2021年~) ・横浜市固定資産評価審査委員会 委員(2015年~) ・横浜市木造住宅耐震診断士派遣事業・横浜市木造住宅耐震診断士(1995年~)		
受賞歴			

研究領域	住居管理	
研究テーマ※	都市部の住居管理循環に向けての提案	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	【研究の背景・目的・内容】 住生活基本計画には良質な住宅ストックの形成やセーフティネット機能の整備の目標が掲げられている。近年の地域社会で顕在化している地域防災、景観や町並み保存、管理不全や空き家問題などを勘案すると、都市部の住宅地の中古市場環境整備と、住宅の維持管理が好循環する仕組みを確立することは急務な課題である。戸建て住宅の居住者の維持管理の実態と、居住者のサポート役として住居管理に関わる職能に求められる役割を整理し、良質な住宅ストックが住宅市場に好循環するための住政策を提案する。 【応用例、研究の展望】 既存住宅流通・リフォーム市場の活性化に向けた施策として、安心R住宅制度やリフォーム事業者団体登録制度、既存住宅状況調査技術者登録制度などが開始されている。これらに加えてさらに①築30年目の住宅の点検の実施、②住宅リフォームに関わる職能の専門性の認定、③適切に維持管理された住宅の評価制度を提案する。まずは①に繋がる住宅の点検(インスペクション)の法整備の実現可能性を探る。所有者(居住者)が我が家の現状を知ること、調査後に継続居住やリフォームを計画、売買や賃貸等の選択の判断材料となるための維持管理の意識啓発を狙いとする。またその実現に際して、行政と職能団体等との連携にあたっての課題を整理する。 【研究方法の特色】 住居管理に関わる職能と、良質な住宅が適性に循環する住居管理の仕組みを提案し、リフォームによる適切な維持管理の促進や、住宅ストックビジネスの活性化、多角化する住生活産業に対応した担い手の確保と発展に貢献する。住宅管理の主体である住宅の居住者(所有者)の視点に立ち、戸建て住宅の居住者が行うべき維持管理と居住者をサポートし、住居の維持管理に関わる職能の役割を確立し、それらの関係性から都市部のセーフティネット機能の整備を目指すところに特色がある。	
本研究関連特許・論文等	・浅見美穂「戸建て住宅の維持管理におけるリフォーム業者の課題に関する研究- 都市部の住居管理循環システム構築に向けての考察 -」、『日本建築学会計画系論文集』、第88巻、第814号、pp.3364-3375、2023.12。 ・浅見美穂「戸建て住宅の維持管理における居住者が持つ課題に関する研究- 都市部の住居管理循環システム構築に向けての考察 -」、『日本建築学会計画系論文集』、第87巻、第798号、pp.1539-1548、2022.8。 ・見美穂、共著「修繕費用と耐震性能からみた住宅の維持管理に関する調査- 横浜市の木造戸建て住宅のケーススタディを通して -」、『日本建築学会技術報告集』、第25巻、第59号、pp.423-428、2019.2。 ・浅見美穂、共著「工事履歴からみる住まいのリフォームに関する研究- 横浜市における木造戸建て住宅のケーススタディを通して その2 -」、『日本建築学会計画系論文集』、第78巻、第687号、pp.1023-1030、2013.5	
共同研究・外部機関との連携への期待	・戸建て住宅の構法・築年数別の維持管理ガイドラインの開発 ・行政の外郭団体やNPO法人などが行う、既存住宅の管理サービスの商品化との連携が期待できる。	